

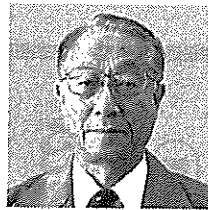
# ハイテム 新本社移転で効率化

## 研究開発機能を拡充

投資額  
6億円  
ファブレス化推進

養鶏場向けオートメーションシステム国内トップのハイテム（安田勝彦社長、電話0588・385・0505）は、各務原市・テクノプラザⅡに新本社を建設し、今年一月から営業を開始した。旧本社近くの二カ所に分散していた工場も新本社に集約。製造設備を持たない「ファブレス企業」をめざし、研究・開発機能を充実させた。効率化を進めて、経営基盤を整えたい考えだ。

（岐阜・竹田ゆりこ）



安田勝彦社長

同社の本社は、これまでにあったが、市内の別の工業団地「テクノプラザⅡ」内に新しく本社を建設して移転した。投資額は六億数千円。

また、製造設備の大半を売却し、従来あった二工場から撤退。一部の設

備は新本社に集約し、ファブレス化を進めた。養鶏場向けオートメーションシステムなどの研究・開発をはじめ、設計、プログラミング、アフターサービスに特化して、製造は国内外の二十数社の専門工場と提携する。商品の性能を高め、収益性を上げることがねらい。

新本社は、二階建て延べ床面積約三千三百平方メートルで、研究・開発機能を充実した。一階には、研究・開発スペースのほか、鶏舎の給餌・給水から飼育温度管理、集卵、鶏糞処理まで一貫して手がける、オートメーションシステムなどの稼働・展示室「ハイテムセンター」を設けた。二階は、設計



1月から営業開始した「新本社」

てなどを行つていける。安田社長は「労働環境を整備し、優秀な人材確保につなげたい。また、テクノプラザには研究・開発型企業が集積しており、他社との連携による新しい事業展開も期待できる」と話す。八日に、関係者を招いて新本社を披露する。本社の移転と同時に、社名を「東洋システム」とし、これまでブランド名として使用してきた「ハイテム」に変更、社名とブランド名を統一した。